

ごあいさつ

「村田病院開院三十周年」にあたり

拝啓

大阪の桜は、その華やかな春の務めを終え結実に向かい、季節は初夏へ移り変わろうとしています。皆様にはお変わりなくお過ごしのことと、推察申し上げます。

さて、平成 27 年 4 月 1 日、私たちの医療法人徳翔会（スィヨウカイ）村田病院は、開院三十周年を迎えました。

「十年一昔」の例えで申しますと、開院の日は「むかしむかしそのむかし」になってしまいました。私は、決して回顧主義者ではないので、昔を懐かしんでばかり居るつもりはありませんが、それなりの感慨をもってこの日を迎えたことも事実です。

何故ならば、開院当時 36 歳の未熟な医師が、恐いもの知らずに始めた脳神経外科病院の道程は必ずしも順風満帆とは言えず、今日病院があるのは多くの方々の多大なるご支援とご指導の賜物でありますし、さらにその何倍もの方々との素晴らしい「一期一会」のお陰と思っております。

そして、今日病院は三十周年を迎えましたが、その目指す医療は未だ道半ばであり、明日から次の目標に向ってより一層の精進を重ねる覚悟であります。

皆様には、今後とも相変わらぬご指導とご鞭撻の程、宜しくお願い申し上げます。

敬具

2015 年 4 月

村田 高徳